



外国人材に
選ばれる
熊本を目指して

Vol.3

やさしい日本語の紹介（1）

公益財団法人 地方経済総合研究所 主任研究員 前田 和則
 熊本学園大学 非常勤講師（日本語科目）
 専修学校 久留米ゼミナール 非常勤講師（キャリア教育科目・日本語科目）
 修士（文学）・修士（大学アドミニストレーション）



外国人材受け入れに関してお困りごとがございましたら、下記までお気軽にお問い合わせください。
 （ご支援例）外国人材の獲得の支援、外国人材の日本語教育支援、日本人社員向け異文化理解研修 等
 公益財団法人 地方経済総合研究所（担当：前田）TEL：096-326-8625 / MAIL：maeda@reri.or.jp

1 やさしい日本語が生まれた背景

「やさしい日本語」は通常使用している日本語を文法や言葉のレベル、文章の長さに配慮した日本語のことです。元々は外国人のために考案されましたが、ここ最近では高齢者、障がいのある人、子どもなど、多くの人に日本語を通じて情報発信をしたり、コミュニケーションをとったりするために使われています。やさしい日本語の研究者である佐藤和之氏（弘前大学名誉教授）はやさしい日本語のレベルについて、「日本語能力試験のN4、N5級程度の外国人にも伝わるわかりやすい日本語で、小学校3年生の国語教科書に相当する。」と述べています。N4、N5は日常会話を簡単な言葉であれば理解できるレベルです。

やさしい日本語が生まれたきっかけは阪神淡路大震災で外国人への情報発信が十分ではなかったことです。当時、地震発生後に外国人被災者のために英語による情報発信がおこなわれましたが、日本人が作成した原稿を英語へ翻訳するだけでは、受け手の外国人側の認識に齟齬が生じ、必要な情報が届きませんでした。以降は会員専用ページにて公開しております。
 以降は会員専用ページにて公開しております。
 ご覧頂くには、入会手続き後、会員専用ページより

アクセスをお願いします。

【通常使用している日本語】
 今朝7時21分頃、東日本大震災以来、最も大きな地震のあとに、引き続き厳重警戒が呼びかけられました。
 【やさしい日本語】
 今朝、朝7時21分頃、東日本大震災以来、最も大きな地震のあとに、引き続き厳重警戒が呼びかけられました。

[ご入会はこちらから](#)
 （入力は数分で終わります）

[会員の方ははこちらから](#)